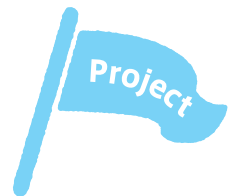


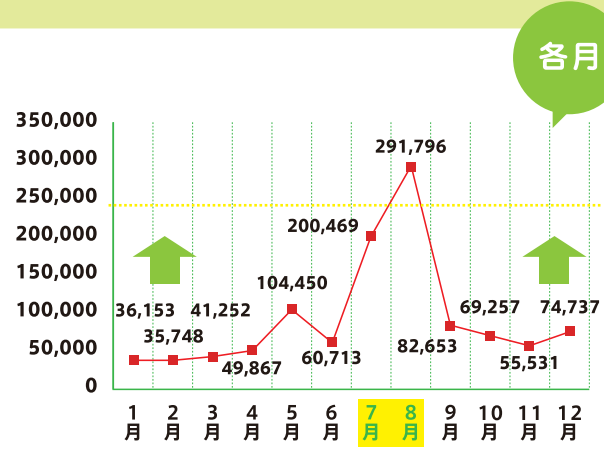
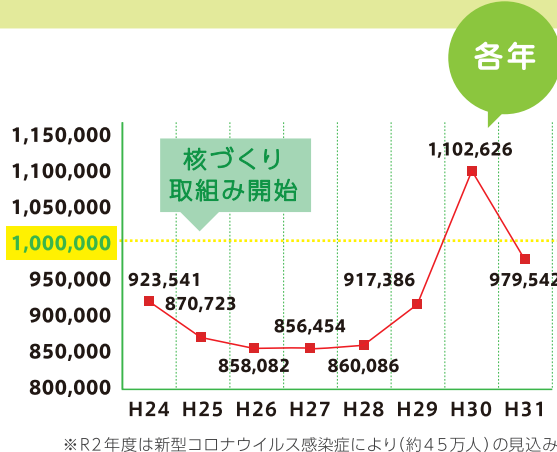
「食べる 買う 泊まる」で経済循環を達成せよ！ 大磯らしい潤いづくり大作戦！



大磯らしい潤いづくり計画(令和3年度~7年度)を策定しました

観光の現状

平成24年と比較すると入込客数は、年々、増加傾向にあります。第四次総合計画後期基本計画及び新たな観光の核づくり基本計画で掲げる目標「観光入込客数100万人」は、平成30年に達成しました。一方で、来訪者の月別の推移をみると、主に夏季における海水浴場及び町内宿泊施設の誘客力に支えられており、夏季とその他の季節では誘客力の差が大きく開いている状況です。



寄せられている主な“声”

お金をたくさん使うつもりで大磯町に来たが使う機会がない、残念



来訪者

夏季以外(春・秋・冬)にも誘客がないと日常生活の維持に不安



商業者

着々と整備が進む町内の「核」をつなぎ、面とするストーリーや仕掛けが必要



有識者

政財界人やノーベル賞受賞者、著名な作家なども好む、静かな住環境を守って



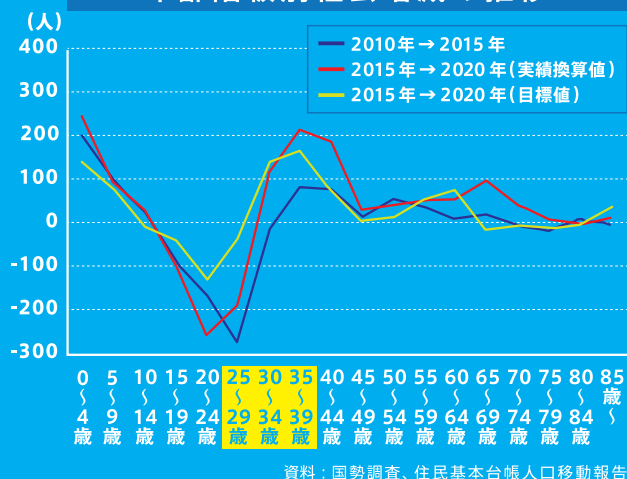
住民

課題や“声”に基づき、様々な取組みに挑戦します！

メインターゲット

『女性(20代後半~30代後半)』

年齢階級別社会増減の推移



様々な形の来訪ニーズが考えられるため、賑わいや趣味などを通じた短期に滞在する来訪者のニーズに応える活動プログラムや場づくりを行い、定着していく段階で、中長期間にわたる滞在(2地域居住)、その先にある移住に向けたニーズに応える取組みを行っていく必要があります。

神奈川県を訪れる観光客には女性が多いという特性を踏まえ、大磯の持つ「首都圏に近く、落ち着いた雰囲気(高級感を思わせる別荘地・保養地)」というイメージをさらに展開し、週末や気分転換をしたい時に気軽に訪問できる「プチ保養地」というイメージ形成に向け、メインターゲットは、女性(20代後半~30代後半)と設定します。

キーワード

『食』と『美』

新たな観光の核づくりで進めてきた「食」及び「健康」をベースに「食」は「健康」へとつながり、そして「癒し」を通じて培われることで、内外面の「美しさ」へとつながることから、スタートの「食」、ゴールである「美」の2つを町の自然、歴史・文化、産業、暮らし等を総合化する持続力あるキーワードとして掲げます。

例えば、大磯の海(魚介類)・街中(物産・野菜)・山(果実・ジビエ)の幸などを生かすとともに、食事をする時、そこに音楽があり、会話が流れ、波の音が聞こえ、風の流を感じる「素晴らしい時間=おしゃれ」を堪能できる、そんな「食」を通じた「美」を見据えるコミュニケーションの推進を図ります。

推進体制

大磯らしい潤いづくり協議会 連携プラットフォーム(R3時点)



方向性1
魅力の発信と伝播

方向性2
通年の誘客
(こゆるぎの浜・邸園文化交流園・大磯丘陵エリア)

方向性3
受入環境(空間づくり)の構築
と体制(食・買・泊)の支援

方向性4
観光と防災対策

方向性5
観光施設の
維持及び管理

友達と大磯ツアー



爽やかな朝、大磯駅で待ち合わせし、シェアサイクルに乗って、高麗の高来神社へGO
嶋立庵で心を落ちつけ、明治記念大磯邸園で当時の息吹に触れる
県立大磯城山公園で富士山を見ながら小休憩
旧吉田茂邸で「決断」に想いを馳せ、六所神社で幸せ祈願
途中、大磯の果物を使ったスイーツで一息つくのも忘れずに
「大磯って明治の別荘地と思っていた。でも古代、中世、近世、そして明治、
昭和と時代時代の物語があって、伝統行事も受け継がれている
好きなアニメの聖地だし、ちょっと興味が出てきちゃった」と友達
夕方、大磯の地酒を堪能しほろ酔い加減
大磯ブランドのお土産も買えたり、新たな発見もあって楽しかった～

家族の一日



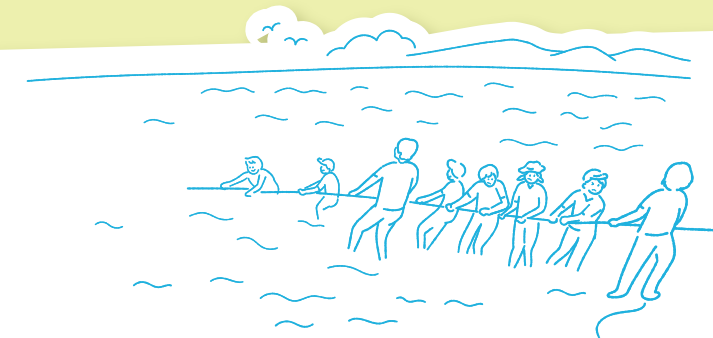
秋の日の週末。町外の友人家族とみかん狩り
大磯丘陵からは、相模湾、富士山、丹沢山系が一望でき、景色をひとり占め
子どもたちはターザンのように飛んだり跳ねたり
お昼は、朝、地元のお店で買った大磯野菜などでバーベキュー
搾りたてのみかんジュースも忘れずに
ふと「こんなところで仕事ができたら良いなあ～」と友人が呟いた
パパは「大磯はワーケーションにはピッタリだよ
明治の政財界の人も別荘構えたぐらいだからさ。手の届くところに海と街と山もある
横浜にも近いし、潮風を感じられるレンタルオフィスで仕事もできる」と自慢げだ

さあ、大磯で君の物語をはじめよう！

未来の大磯にタイムスリップ！

この“日記”は、将来「こんな風景が生まれたら良いな」をイメージしたものです。

ある日の出来事



今日も太陽が元気いっぱい。パパと弟は早起きして地引網のお手伝い
6時ごろ「シラスとイナダをもらった」と言って帰ってきた
早速、朝からみんなで「生シラスご飯」を堪能
パパは残ったシラスを釜揚げにして
「おつまみ完成。これで仕事のやる気が出る～」と
すっかり馴染んだりリモート会議の準備へ
今日の学校は、大好きな「技術家庭科の授業」
最近、家でパパとママと魚の干物を作ったり、ジャムを作ったり
のんびりと手間をかけて作るのがとっても楽しい
今週の日曜日は、大工の体験教室だ。ワクワクがとまりません♪

日帰り旅行



休みが取れたので彼女とプチ旅行を企画。ポカポカ陽気だし、「さあ、どこいこう」
海も山もあって、歴史・文化もあって都内から
1時間ぐらいの静かなところ…「これだ！」と大磯町に決定
電車に乗り、川を渡るとだんだん海が見えてきた
高麗山を過ぎると落ち着いた街並みが車窓から見えて空気感が一変
駅前の観光案内所で情報をもらっていざ、出発
潮風を感じながら二人で海岸や灯台、細い路地をぶらぶら散歩
漁港のお店で昼食を食べ終わると「船に乗れる」とお店の人が教えてくれた
大磯港から出港し海から陸をみる。船は初めてでドキドキ
釣り、自転車、磯あそび…みんな思い思いに楽しんでいる
手づくりしたものが集まる市(いち)や夏は海水浴ができ、美容のお店もあるらしい
時間が足りない…「また来ようね！」って彼女と約束した

